2008 年 9 月 8 日

報道関係者各位

『ペトロ岐部と 187 殉教者』列福式

報道関係取材申込開始のお知らせ

2008 年 11 月 24 日（月・祝）に長崎・ビッグ N スタジアムで開催されるローマ教皇庁の公式行事『ペトロ岐部と 187 殉教者』列福式にあたり、報道関係各位の取材申込に関するご案内をいたします。

今回は、11 月 24 日の**列福式典**の取材申込になります。申込を希望される報道関係各位は、カトリック中央協議会のホームページ(http://www.cbcj.catholic.jp)の中の取材申込開始のお知らせから、申込フォームをダウンロードし、その中にある『ペトロ岐部と 187 殉教者』列福式典取材申込書に必要事項をご記入の上、2008 年 9 月 20 日必着でカトリック中央協議会広報宛にご送付ください。

なお、お手数ですが、準備の都合上、取材者の人数を事前に把握しておきたいと存じます。記者、カメラマン、その他、貴社から派遣のご予定の方々の正確な人数を 9 月 20 日(土)17 時までに、カトリック中央協議会・広報まで FAX(03-5632-4457)にて、お知らせくださるようお願いいたします(その時点で、氏名が確定している場合はお名前をご記入ください。未定の場合は、プレスカード発行のため後日、氏名と所属部署、連絡先等をご確認させていただきます)。

また、列福式を司式する教皇代理の東京と京都における日程については、現在、調整中です。決定次第、速やかにプレスリリースし、同時にカトリック中央協議会のホームページにてお知らせいたします。ご質問・お問い合わせは、下記のカトリック中央協議会広報までお願いいたします。

この件に関するお問合せ先
カトリック中央協議会　広報
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10
電話：03-5632-4431　FAX：03-5632-4457
E-mail：info@cbcj.catholic.jp

『ペトロ岐部と 187 殉教者』列福式典　(2008 年 11 月 24 日)
取材申込書

宗教法人　カトリック中央協議会
司教協議会秘書室広報　担当部長殿
（FAX 番号：03-5632-4457）

列福式　取材申込み

会社名	
部署名	
取材者氏名	
住所	
TEL	
FAX	
E-mail	
記者	人
記者 (兼カメラ)	人
カメラマン	人
カメラ助手	人
計	人

※ この取材申込書は、取材の許可の可否に関わらず返却いたしませんので予めご了承ください。なお、この申込書に記載された情報は、プレスカード発行以外には一切用いることはありません。また、カトリック中央協議会から第三者に渡されることもありません。
※ 上記全ての項目にご記入ください。
※ プレスカードは１人に１枚発行されます。

FAX 締切　2008 年 9 月 20 日　17 時まで

■用語説明

福 者
神のみに信頼と希望を置き、神のみを愛して世を去った者の中で、信者の尊崇を集め、信仰生活の模範にふさわしいと認められた者を、カトリック教会は、聖人･福者と宣言することがあります。これを列聖･列福と呼びます。 福者は、聖人の前段階です。聖人は、全世界の教会で公式の祈りにおいて記念されるのに対し、福者は、当該の国の教会で記念されます。

列福式
全世界から教皇庁に寄せられる列聖･列福の請願は、それぞれについて、段階を追って精査され、最終的に教皇が列聖･列福を宣言します。この儀式が列聖式･列福式であり、ローマ教皇庁の主催で行われます。ペトロ岐部と 187 殉教者の列福式は、教皇特使に任命される教皇庁列聖省長官が司式し、列福を決定し宣言する教皇書簡を読み上げることになっています。

殉教
神 への信仰･希望･愛に生き、信仰への迫害にめげず無抵抗、非暴力のうちにいのちを捧げることを殉教と呼びます。教会によって公に認定される殉教者とは、迫害する側が、信仰のみの理由でその人のいのちを奪うこと、また迫害される側も、信仰のみの理由で暴力的な抵抗をせず、いのちを奪われる結果になった人です。

ペトロ岐部と 187 殉教者
「ペトロ岐部と 187 殉教者」は、徳川幕府の厳しい禁教政策のもとで信仰の自由を守りぬき、1603―1639 年に全国各地で殉教した日本人の男女信徒･修道者･司祭です。
188 殉教者の筆頭にあげられているペトロ岐部（1587 年 豊後《現大分県国東市》生まれ―1639 年 江戸で殉教）は、迫害に苦しむ日本の信徒たちのために司祭になることを決意し、大陸を横断し徒歩でローマへ行った不屈の人です。中浦ジュリアン（1567 年頃《現 長崎県西海市》生まれ―1633《現 長崎市西坂で殉教》）は、天正の遣欧使節の一人としてヨーロッパと日本を結ぶ架け橋の草分けとして広く知られています。
上記を含む 5 人の司祭･修道者以外の 183 人の殉教者は、武士･町人･家庭の主婦･伝道士など老若男女の信徒たちです。一家揃って殉教した家族、身分や障害などのため社会の底辺で苦しむなどさまざまな生涯を送った人びとが含まれています。
188 殉教者の列福は、信教の自由という人間の基本的な権利のために、反体制を叫ぶ政治的運動ではなく、純粋に信仰者の立場から いのちを賭した多くの先達を思い起こす好機であると考えます。

■列福式ロゴ

■列福式標語

1. 命をかけて「いのち」を生きる
2. ときを超え　今ひびく　福者の祈り
3. 証　―188―　(証　―　一八八　―)

■列福式ロゴの説明

ロゴ全体は日本(「JAPAN」の「J」)と「舟」を表しています。下にあるラテン語「ペトロ岐部と 187 殉教者」の文字部分は「波」をイメージし、福音が宣教師たちを通じて日本へもたらされたこと、そして、日本の教会(舟)が神の国の完成に向かって海原を進んでいる姿を象徴しています。
上方の白抜きの円はイエス・キリストの聖体を表わすと同時に、無力(0＝ゼロ)な赤子の姿でこの世に来られた神であるキリストの受肉の神秘、受難、死、そして「無限」を意味しています。この「無限」は、永遠の命、完全な命である復活にもつながっています。そのイエス・キリストの聖体を 188 名の殉教者が両　手で支えるように囲み、また下方中央に魚のイメージで描かれたキリストご自身が 188 名を支え生かしています。
殉教をイメージした赤色を基調に、向かって左端に「パン」を意味する「麦」、右端に「ぶどう酒」を意味する「ぶどうの木の葉」を表現しています。パンとぶどう酒は、キリストがご自身を捧げられた記念として行われるミサの中で使われますので、このロゴの中では、自らの生涯と命を献げた殉教者たちを表しています。

■列福式会場周辺地図

列福式会場
浦上天主堂
爆心地公園
原爆資料館
本原町
上野町
橋口町
岡町
平和町
本尾町
坂本
平野町
岩川町
宝栄町
竹の久保町
江里町
三芳町
松山町
長崎大学医学部
長崎大学歯学部
長崎大学医学部・歯学部附属病院
長崎市平和会館
市立博物館
原爆資料館
平和祈念館
長崎パークサイドホテル
長崎シティーホテル アネックス3
長崎球場
ビッグNスタジアム
平和公園
長崎南山高・中
長崎びーどろ美術館
中華人民共和国総領事館
長崎信愛幼
長崎少年鑑別所
浦上天主堂
ファミリーマート
長崎本原
山里中
山里小
高尾小
坂本小
活水高・中
長崎県医師信組
市北保健センター
浦上出張所
ニューうらかみ
山王神社
穴弘法寺
250 m
Copyright © Alps Mapping K.K.
Copyright © CyberMap Japan Corp.